

2023年8月28日

報道関係 各位

住友不動産株式会社

## 港区・住友不動産 官民連携『合同帰宅困難者受入訓練』開催 住友不動産東京三田ガーデンタワーにて実施

住友不動産株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:仁島 浩順)は、本年2月に竣工しました「住友不動産東京三田ガーデンタワー」において、街区就労者、地元町会とともに港区と連携し、住友不動産主催による帰宅困難者受入訓練を、2023年8月22日(火)に開催いたしましたので、お知らせいたします。

今回の訓練では、首都直下地震により、都内各地で火災が起こり、ライフラインに甚大な被害が発生し、首都圏交通機能の復旧の見込みが立たず、帰宅困難者受入が必要となったことを想定して、港区と一時滞在施設の開設・受入プログラムを実施いたしました。また、街区就労者や地域住民の皆様積極的に参加いただくことで、関係者間の連携強化、防災意識の向上に資する訓練となりました。今回の訓練には計1,125名の方々にご参加いただきました。なお、「港区における首都直下地震被害想定調査・分析結果」(令和5年3月)では、首都直下地震の被害想定として田町・三田駅では帰宅困難者が約7万6千人発生すると想定されております。

当社は東京都心7区において20施設、約1万1千人の帰宅困難者受入に関する協定を行政と締結しております。今後も災害時における都市と人の命を守る街づくりに取り組んでまいります。



帰宅困難者受入訓練の様子



住友不動産東京三田ガーデンタワー 外観



住友不動産×内閣府 コラボレーション実施中！  
住友不動産は、内閣府「防災への備え」コラボレーション事業に賛同し、防災意識の向上や災害への備えの促進に取り組んでいます。

<報道関係者お問い合わせ先>

住友不動産株式会社 広報部 TEL:03-3346-1042

## ■ 港区・住友不動産 合同帰宅困難者受入訓練の概要

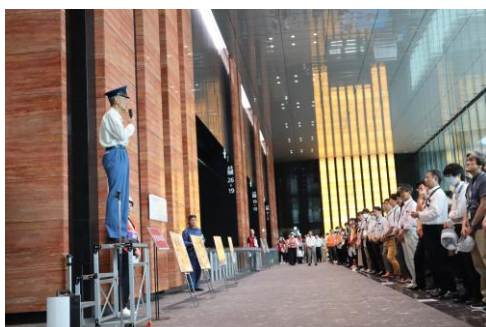
### 1. 東京消防庁芝消防署、街区就業者との消防訓練(参加人数:1,013名)

#### 【就業者の消防訓練】

13時に首都直下地震により、当ビルの7階で火災が発生したとの想定で訓練を実施しました。就業者は自社で自衛消防隊を編成する初期消火にあたったが、消火不能であり、施設管理者の指示により、避難階段を利用し避難いたしました。

#### 【VR車、起震車、AEDを用いた災害体験コーナー】

避難訓練後には、訓練参加者向けにVR車や起震車を用いた災害体験コーナーで、発災時に起こりえる様々な被害を仮想空間内で体験することや、実際の揺れを体感することで震災の恐ろしさを実感するなど、防災意識の向上に資する機会を設けました。また、避難者同士の「自助・共助」を強く意識していただくために、実物のAEDを用いた蘇生方法のレクチャーも実施いたしました。「動ける避難者」が互いに助け合う意識を持つことでエリアとしての防災機能の強化に貢献する訓練となりました。



芝消防署長による講評



災害体験コーナー／起震車

### 2. 港区と連携した街区就業者、地域住民参加の帰宅困難者受入訓練(参加人数:112名)

#### 【来街者の帰宅困難者受入訓練】

上記の災害に伴って、ライフラインに甚大な被害が発生し、首都圏の鉄道が広範囲で運転見合わせ。首都圏各交通機関の復旧の見込みが立たず、駅周辺は帰宅困難者で溢れたという想定で行いました。最初に、当施設の損害状態を把握し、帰宅困難者の受入が可能であることを港区に連絡の上で受入を開始する手順を確認しました。今回は全員が受入に際する同意書を記入し、配布物資を受け取るまでの流れを実践することで、発災時にどのような問題が起こりえるかを認識し、有事の際の対応に役立てることが期待できます。

#### 【応急救護や簡易トイレ設営のデモンストレーション】

受入完了後、参加者に向けて応急救護の方法や簡易トイレの使用方法についてのレクチャーが実施されました。消防訓練同様、避難者が互いに助け合えるように有事に備えた実践的なレクチャーを行うことでエリアの防災意識の向上に貢献することが出来ました。



応急救護レクチャー

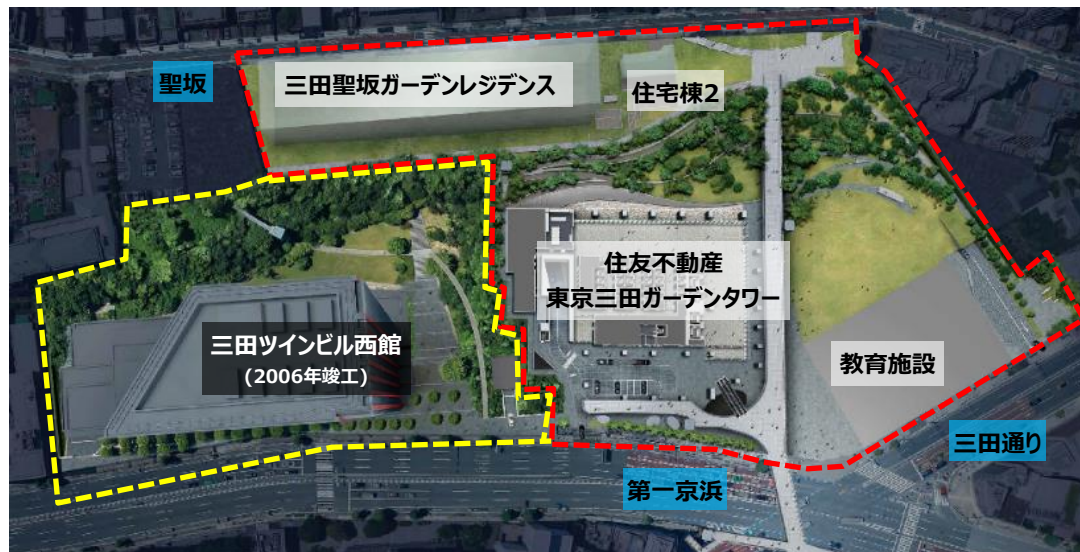


簡易トイレの使用方法説明

## 【参考】「三田三・四丁目地区第一種市街地再開発事業」について

### ■ 総延床面積 約22万9千㎡の大規模複合開発

本事業は、オフィス、住宅、文化・交流施設、商業・生活支援施設、教育施設を含んだ4棟から構成される大規模複合開発です。中核施設となる「住友不動産東京三田ガーデンタワー」の大部分はオフィスであり、地下を含む低層フロアには飲食店舗区画等を整備します。そのほか、三田通り沿いには教育施設である学校や幼稚園、北側の聖坂沿道には2棟の都市型住宅(計225戸)を設ける等、多様な機能が集積する、魅力ある新拠点を形成します。



街区全体図

### ■ 高さ約215m 新たなランドマークとなる「住友不動産東京三田ガーデンタワー」

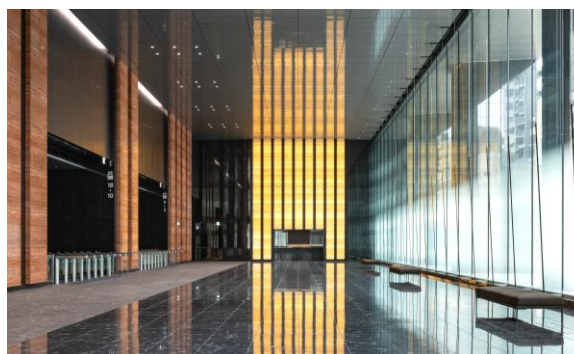
本事業の中核となる「住友不動産東京三田ガーデンタワー」は、高さ約215m(地上42階、地下4階建)、延床面積は当社開発ビルにおいて最大規模の約20万㎡を誇ります。外観は近接する当社運営の「住友不動産三田ツインビル西館・東館」の品位ある赤煉瓦調のデザインを継承しております。



外観



エントランス



エントランスロビー

## ■ 街づくりの経緯

- 2010年度 「三田三・四丁目地区市街地再開発準備組合」設立
- 2017年度 都市計画決定告示
- 2018年度 「三田三・四丁目地区市街地再開発組合」設立認可
- 2019年度 権利変換計画認可、工事着工
- 2022年度 住友不動産東京三田ガーデンタワー 供用開始
- 2025年度 工事完了(予定)

## ■ 地区概要

区域面積：約4ha

延床面積：4棟 合計 約229,000㎡

内、住友不動産東京三田ガーデンタワー 199,710㎡

(地上42階/地下4階、高さ約215m、用途:事務所、集会場、店舗 他)



現地周辺図

< 本件に関する報道関係者お問い合わせ先 >  
住友不動産株式会社 広報部 TEL:03-3346-1042